

# 施策評価シート(令和3年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (3) 農林業の振興

(評価担当者)

産業環境部長

富田 真左哉

## ■基本施策が目指す姿

農林業の担い手が、効率的かつ安定した経営を営んでいます。

## ■関連する分野別計画

## ■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	新規認定農業者及び認定新規就農者の数	人	-	-	0	3	6	10	11	10
2	6次産業化や農商連携に取り組む認定農業者数	人	10	H27	10	10	10	10	10	15
3	利用間伐施業面積(累計)	ha	-	-	74	152	200	255	296	300
4										
5										

## ■市民アンケート調査

項目	重要度	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 農業・林業が盛んに行われている	重要度	0.93	0.78	0.77	農業・林業について、重要度は概ね横ばいであり、満足度については上昇している。引き続き、源流域での間伐の推進や農地維持の支援による水源の涵養、自然環境の保全のほか、鳥獣被害対策など施策を展開し、重要度、満足度の向上に努める必要がある。
	満足度	▲ 0.38	▲ 0.39	▲ 0.17	
2	重要度				
	満足度				
3	重要度				
	満足度				
4	重要度				
	満足度				
5	重要度				
	満足度				

## ■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んだ	<p>中庄・下庄地区において、人・農地プランが作成され、農業経営体・後継者の確保ができた。また、畜産ポーークラスタ計画に基づく新たな肥育舎建設への補助金交付や有害鳥獣対策としての電気柵設置への補助金交付により、農業経営の安定化につなげることができた。さらに森林経営管理事業においては、森林境界・森林状況調査など、森林の適正な管理に向けて一部遅れはあるものの進めることができ、全体としてある程度の進捗が図れている。</p> <p>また、基本施策に設定した成果指標においても3指標の内、2指標において実績が伸びており、基本施策が目指す姿にまずまず近づけることができていると考えられることから、総合判定をBとした。</p>

### 反省点・課題

高齢化による担い手不足、耕作放棄地の拡大、輸入農産物の増加等、農業を取り巻く環境が非常に厳しくなる中、人・農地プランの作成、農業の担い手の育成をさらに進める必要がある。また、地域の資源を生かした6次産業化、農商連携が弱く、プランディングや「スマート農業」の活用、稼げる農業に向けた支援など、農業経営の安定化に向けた取り組みをさらに進める必要がある。

林業においては、森林所有者の森林整備に対する関心・意識が薄れてきており、相続などにより所有森林所在地の不知、境界が不明などの理由から、林業事業者や市が森林整備を行うための合意取得などに時間と労力を要するなど、森林施業の集約化・団地化が困難になってきている。

### 今後の展開方針

地域農業の維持・発展を図り、農業の担い手の育成・確保と農業経営の安定化を図るため、有害鳥獣駆除対策、畜産業への支援を継続して実施するとともに、地域での人・農地プランの作成をさらに支援していく。また、農地の集積やデジタル技術を活用した「スマート農業」導入などによる効率化や新たに取り組む「亀山サステナブル農業奨励事業」により、農作物のブランド化など高付加価値農業の展開による稼げる農業への支援を進める。

また、林業事業者の生産活動に対しては、引き続き支援を行うとともに、森林経営管理事業を着実に進めることで、事業量確保による林業事業者の経営の安定化と適切な森林の管理につなげていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 農業経営体の育成・確保						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
B	活動	地域農業の維持・発展を図るため、中庄・下庄地区において、人・農地プランの作成を支援、協議を進めた。生産調整対策事業については、電話等で個別対応を行った。	評価	人・農地プランについては、中庄・下庄地区で作成が完了し、今後の農業経営体・後継者の確保ができた。また、生産調整対策事業では、営農組合等による計画的な取り組みのもと、安定した生産調整が行われ、施策はまずまず推進できている。		
まずまず進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	6075	人・農地プラン作成事業	標	50 / 0	B	B
	6076	農業人材力強化総合支援事業	標	0 / 0	D	D
	6014	団体支援事業(生産調整対策事業)	標	11,100 / 10,631	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向② 農業経営の安定化						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
B	活動	畜産競争力強化対策として、県等と連携し、畜産パーククラスター計画に基づき肥育舎等の設置費用に対して補助金を交付した。有害鳥獣対策に猟友会と連携して取り組み、被害防止対策補助金についても地域への周知を行った。耕作放棄地解消、土地利用集積推進への取り組みに対し補助金を交付した。	評価	畜産競争力強化対策事業で肥育舎等が設置され、衛生的、高収益性、環境負荷の少ない養豚経営の実現につながった。また、猟友会と連携した有害鳥獣の捕獲や農家への被害防止対策補助により被害軽減が図れている。耕作放棄地解消、土地利用集積推進は予定した成果は得られなかったが、施策はまずまず推進できている。		
まずまず進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19011	畜産競争力強化対策整備事業	主	118,625 / 117,160	A	A
	6009	有害鳥獣対策事業	標	23,900 / 22,244	A	A
	6007	一般事業(農業振興事業)	標	8,730 / 6,141	A	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向③ 高付加価値農業の展開						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
B	活動	市の特産である亀山茶を知ってもらう施策の一つとしてお茶の入れ方教室やうがい茶の配布など市の特産品である亀山茶のPRを行った。また、農商工連携により、新たな特産品の発掘から販路確保までの事業を展開するため、亀山市地域ブランド推進協議会を中心に協議を行った。	評価	新型コロナウイルス感染防止のため青空お茶まつりが中止となる中、限定的な方法ではあったが、うがい茶の配布など亀山茶を知ってもらう施策を推進することができた。また、農商工が連携して亀山ブランド創出に向けた取り組みを進めることができた。		
まずまず進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	6035	特産振興事業	標	1,280 / 557	A	B
	6069	ふれあい農園管理事業	標	755 / 610	B	B
	6052	中山間地域活性化事業	標	200 / 200	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向④ 林業経営の安定化						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
B	活動	林業施策の集約化・団地化、利用間伐等を実施した2林業事業体に対し補助金を交付した。森林経営管理事業では、適切な森林の経営管理の推進を図るため森林境界・森林状況調査などを実施した。また、森林組合等団体へ補助金を交付し活動支援した。	評価	成果指標である利用間伐施業面積目標値には届かなかったが、国・県の造林補助金に上乘補助、市独自の補助メニューである木材搬出に対する補助を行ない、林業事業体、森林所有者の負担軽減に寄与できた。森林経営管理事業では、小面積ではあるが森林整備を実施することができたことで、林業経営の安定化が図れ、まずまず推進できている。		
まずまず進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17063	林業生産活動支援事業	主	12,000 / 10,133	A	B
	19008	森林経営管理事業	主	23,928 / 23,844	B	B
	6022	一般事業(林業振興事業)	標	932 / 871	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果